

開催趣旨

本年5月に農林水産省により策定された「みどりの食料システム戦略」では、高い生産性と両立する持続的な食料生産体系への転換が目指されている。畜産においても、持続的な畜産物生産への転換が求められており、その実現のため環境負荷を低減させる具体的取組として、子実用トウモロコシ等の生産拡大や耐暑性・耐湿性等の高い飼料作物品種の開発による自給飼料の生産拡大が挙げられている。こうした情勢を鑑み、本研究会では、子実用トウモロコシを中心とする自給飼料の生産利用の拡大に向けた技術開発等の最新の情報について情報交換を行う。

主 催

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門

共 催

自給飼料の生産性向上研究開発プラットフォーム

日 時

令和3年12月3日（金） 13:00～17:15

場 所

TeamsによるWeb会議

参集範囲

農林水産省、独立行政法人、国立研究開発法人、都道府県、大学、団体、民間等の関係者

次第

開 会	13:00
挨拶	13:00-13:10 農研機構畜産研究部門 所長 高橋 清也
	(座長：農研機構畜産研究部門 畜産飼料作研究領域長 野中 和久)
基調講演	
国産濃厚飼料等の地域産飼料資源の活用 (山形大学における取り組みを中心として)	13:10-13:50 山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター エコ農業部門長 (高坂農場長) 浦川 修司
行政報告	
「みどりの食料システム戦略」と自給飼料生産拡大の推進	13:50-14:20 農林水産省畜産局飼料課飼料生産計画班 課長補佐 藤岡 康恵
研究・技術紹介	
飼料用耐湿性トウモロコシの品種育成の現状	14:20-14:50 農研機構畜産研究部門畜産飼料作研究領域 飼料作物育種グループ長 間野 吉郎
子実用トウモロコシの収穫調製技術の開発方向	14:50-15:20 農研機構畜産研究部門畜産飼料作研究領域 領域長補佐 河本 英憲
休憩	15:20-15:30
水田輪作における子実用トウモロコシの活用	15:30-16:00 農研機構東北農業研究センター緩傾斜畑作研究領域 生産力増強グループ長補佐 宮路 広武
農研機構の重点普及成果情報等の最新技術紹介	
(1) フェストロリウム品種「那系1号」の特性と現地栽培試験	16:00-16:15 農研機構畜産研究部門畜産飼料作研究領域 飼料作物育種グループ上級研究員 内山 和宏
(2) 周年親子放牧技術	16:15-16:30 農研機構畜産研究部門畜産飼料作研究領域 省力肉牛生産グループ長 中尾 誠司
(3) 粃米サイレージ調製の高エネルギー化技術	16:30-16:45 農研機構畜産研究部門畜産飼料作研究領域 領域長補佐 河本 英憲
総合討論	16:45-17:15
閉 会	17:15